

## 6. この法人の事業に対する理解の普及

### 6-1 機関誌の発行、情報公開

#### <事業計画>

ICT活用による教育改善の促進、情報教育の充実と普及、情報環境の整備促進、大学連携・産学連携による教育支援等の振興・促進、大学教職員の職能開発及び大学教員の表彰について理解と協力を得ることを目的に、機関誌「大学教育と情報」の発行とインターネットによる発信を行う。また、全国の大学関係者に理解の普及を拡大するため、九州、関西・中四国、東海、東北、北海道の5地域で事業活動報告交流会を実施する。

#### <事業の実施状況>

「事業普及委員会」及び「事業普及委員会翻訳分科会」を継続設置して、機関誌の発行、海外情報の翻訳、インターネットによる情報公開・配信・意見収集、事業活動報告交流会を通じて、本協会が実施する公益目的事業について理解の普及を行った。以下に、委員会及び事業活動報告交流会の活動状況について報告する。

#### 事業普及委員会、翻訳分科会

事業普及委員会は、5月19日、6月30日、9月23日、12月26日、平成29年2月10日、3月2日に平均4名が出席し、6回開催した。公益目的事業の理解普及を推進するため、年間4回の機関誌「大学教育と情報」の発行とホームページで情報公開を行った。また、事業普及委員会で翻訳すべき内容を吟味した上で翻訳を決定し、翻訳分科会委員に海外情報の翻訳を依頼した。以上の他、公益目的事業の理解の普及を図るため、事業活動報告交流会を5地域で実施した。

#### (1) 機関誌「大学教育と情報」の発行

6月、9月、12月、3月の4回に亘り、80頁の規模で全国の大学・短期大学、文部科学省・関係団体、賛助会員を対象に以下の方針で、12,000部発行している。

- ① 公益目的事業に対する理解の促進を図るため、事業活動の内容に加えて大学における教育改善、情報教育への取り組み、国や関係機関の審議動向、マスコミ報道などを踏まえ、時宜に適ったインパクトのある情報を提供するようにした。
- ② 上記の方針に沿って、特集では、地域連携によるアクティブ・ラーニングの取り組みを2号に亘り掲載するとともに、ICTを活用した学修成果の取り組み、情報セキュリティを掲載することにした。
- ③ 教育改革に組織的に取り組む事例を紹介するため、「人材育成のための授業紹介」のコラムは廃止し、「大学の組織的な取り組みの工夫」として、高大接続改革、eポートフォリオ、eラーニング、PBLをテーマに実践を紹介することにした。
- ④ 海外ニュースは、即時性・話題性のある内容を翻訳あるいは抄訳して紹介することにしており、28年度は2件翻訳したが、その内の1件「パーソナルラーニングはどのように学生の学業達成を導くのか」を掲載することにした。

以下に、平成28年度に4回発行した目次を掲載する。

#### 大学教育と情報(2016年度No. 1: 28年6月)

- ・巻頭言「首都圏小規模大学とICTの活用」 三幣 利夫
- ・特集「教学マネジメントの試み(3)」  
「学修成果アセスメントに向けたパラダイムチェンジ」 林 透  
～山口大学・大学教育再生加速プログラム(YU・AP)を中心に～

- 「学生自身による学修のPDCAサイクルの確立」～東京理科大学～ 満田 節生  
「学修成果の可視化による教育改革の試み」～東京女子大学～ 小田 浩一  
「実践型教育プログラムによる学生の成長を可視化するための試み  
～北九州市立大学～」 山崎美美子
- 大学の組織的な取り組みの工夫
    - 「eポートフォリオを活用した学修支援と教育改善への取り組み」  
～大阪府立大学～ 星野 聡孝
    - 「アサーティブプログラム、アサーティブ入試と新たな高大接続の可能性」  
～追手門学院大学～ 福島 一政、志村 知美
    - 「次世代スキップアッププログラムによる高大シームレス接続へ向け  
たモデル構築」  
～千葉大学～ 野村 純
  - 教育・学修支援への取り組み [大阪女学院大学]
  - 私立大学情報教育協会とは
  - 私情協ニュース
  - 募集
  - 事業活動報告
  - 賛助会員だより

#### 大学教育と情報（2016年度No.2：28年9月）

- 巻頭言「人間性教育の重要さと難しさ」 間野 忠明
- 特集「地域連携によるアクティブ・ラーニングの取り組み(1)」
  - 「〈地域〉と〈大学〉をつなぐ経験値教育プログラム  
～園田学園大学～」 大江 篤
  - 「島根大学COC事業における地域志向教育の取り組み～島根大学～  
中野 洋平、高須 佳奈
  - 「全学部1年生へのPBL「まちづくり提言コンペ」の実践  
地域学修を目的とする全学的なアクティブ・ラーニングへの第  
一步として」 家本 博一
  - 「“現代の志塾”多摩大学におけるプロジェクト型地域学習の進化と  
今後の展望」 酒井麻衣子
  - 「地域・社会との『連携』による課題解決実践型教育環境の構築を目指して  
「地(知)の拠点整備事業」および、連携研究員を活用した課題解決実践  
型授業の開発 ～信州大学～」 林 靖人
- 大学の組織的な取り組みの工夫
  - 「三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム  
～三重県立看護大学 高大接続事業の取り組み～」 齋藤 真
  - 「杏林大学のグローバル人材育成教育と高大接続の取り組み」 北村 一真
  - 「カリキュラムマップと連動する達成度自己評価システムを軸とした  
学修支援と教育改善の取り組み」 小森 道彦、下山 貴宏
  - 「学びの振り返りと教員連携を目指した臨床実習eポートフォリオ」 石川 和信
  - 「グローバル理工学人材育成のための総合的ポートフォリオの構築  
井上 雅裕、祖父江一郎
  - 「共愛学園前橋国際大学におけるeポートフォリオを活用した学修成果の可視化  
～エビデンス・ベースドの自己評価システムによる自律的学修者  
の育成～」 後藤さゆり、佐藤賢輔
- 各事業への参加募集
- 事業活動報告
- 賛助会員だより

### 大学教育と情報 (2016年度No. 3 : 28年12月)

- ・ 巻頭言「社会の変化と大学教育」 牛渡 淳
- ・ 特集「地域連携によるアクティブ・ラーニングの取り組み(2)」
  - 「地域と連携したアクティブ・ラーニングの推進とその効果の可視化をめざして」 岡野 啓介
  - 「広島修道大学COC事業の取り組み  
～大学生を地域イノベーション人材に～」 田坂 逸朗
  - 「昭和大学 在宅チーム医療教育推進プロジェクト  
～大学と地域で育てるホームファーマシスト～」 加藤 裕久
- ・ 大学の組織的な取り組みの工夫
  - 「茨城大学の地域志向教育と新しいPBLの取り組み」 清水恵美子
  - 「エンジニアリング系4学科による大学初年次における  
異分野連携PBL科目の実施」 伊與田宗慶
- ・ 各事業への参加募集
- ・ 事業活動報告
- ・ 賛助会員だより

### 大学教育と情報 (2016年度No. 4 : 29年3月)

- ・ 巻頭言「情報社会と倫理観」 原田規梭子
- ・ 特集「情報セキュリティ」
  - 「IoT時代の情報セキュリティの課題」 高倉 弘喜
  - 「サイバー攻撃の動向とセキュリティの対応体制」 満永 拓邦
  - 「経営執行部(役員)の情報セキュリティに対する取り組みについて」
  - 「情報セキュリティのベンチマーク評価と改善取り組みのガイドライン」
  - 「大学情報セキュリティベンチマークリストの評価結果」
- ・ 大学の組織的な取り組みの工夫
  - 「質保証に向けたeラーニングの取り組み:学修支援」 小松川 浩
  - 「e-Learningを取り入れた英語教育」 野澤 健
  - 「高等教育におけるe-Learningの普及方策  
～愛媛大学教育デザイン室の取り組み～」 仲道 雅輝
- ・ 海外ニュース
- 「パーソナルラーニングはどのように学生の学業達成を導くのか」
- ・ 各事業への参加募集
- ・ 事業活動報告
- ・ 賛助会員だより
- ・ 私情協ニュース

#### (2) インターネットによる情報公開・配信・意見収集

本協会の公益目的事業の活動を社会に紹介し、理解の普及を図るため、ホームページの枠組みを事業活動に連動できるよう、「望ましい教育改善モデルの探究」、「情報教育のガイドライン」、「高度な情報環境づくり」、「大学連携・産学連携の推進」、「教職員の教育力向上」、「高度情報化の支援」、「分野別研究発表の検索」を設定し、事業の活動報告としての成果物及び各種委員会の議事概要を公開している。また、事業ごとにインターネットで意見・要望を収集するための入力サイトを設け、事業の点検・評価・改善を行っている。